

南予と高知をつなぐ春の電車旅

◎花よりだんご列車～予土線の春に出会う旅～

満足そうに和菓子を頬張る参加者



4月10日「花よりだんご列車」予土線の春に出会う旅」が行われました。この催しは宇和島駅を出発した「おさんぼなんよ号」が、江川崎駅で折り返し、宇和島駅へ戻ってくるというもの。運行区間の各駅や車内では、趣向を凝らしたイベントが実施され、乗客を楽しませていました。近永駅では、駅舎内で野村社中(裏千家)による、抹茶と和菓子のおもてなしを実施。近永駅に着くまでの道中で、昼食を取っていた乗客たちは、春の陽気が漂う中、食後のデザートとして、ほっと一息ついた様子で、口にしています。

25人の新戦力が加わりました

◎鬼北町消防団入団式・辞令交付式

宣誓を述べた、武田新入団員



4月10日、広見体育センターで、鬼北町消防団入団式・辞令交付式が行われ、階級が昇格した団員および新入団員に辞令が交付されました。新入団員の武田大樹さん(第1分団第4部)による宣誓では、何事も恐れず、良心に従って、誠実に消防の義務を遂行することを誓い、団員全員が気を引き締め直していました。式典終了後には、鬼北消防署員による「火災防御活動について」の講話や、奈良川河川敷で礼式訓練が行われ、団員たちは、いつ起こるかわからない災害に備え、熱心に取り組んでいます。

愛好家たちを魅了する、春の山野草

◎春の山野草展

色彩豊かな山野草を楽しむ来場者



4月23・24日の2日間にわたって、広見体育センターで鬼北山野草会(会長・武田國次)が主催する「春の山野草展」が開催されました。会場には、この季節にしか見ることのできない多数の山野草が並び、来場者たちは一つ一つの山野草を楽しそうに眺めていました。また、会場では山野草の苗の販売も行われ、来場者たちは、展示された山野草の中から選び抜いた、お気に入りの山野草の苗を購入。その苗が上手に育つよう、会員からはアドバイスが送られ、購入者たちは熱心に耳を傾けていました。

プロの「技」と「迫力」に感動

◎愛媛FCマツタウン

わくわく、ドキドキの子どもたち



松山市のニンジニアスタジアムで4月23日、愛媛FCの試合が行われ、マツタウンとして、近永スポーツ少年団サッカー部「鬼北TIGRINHO」の子どもたちが、エスコートキッズを務めました。憧れの選手と手をつなぎ、緊張した様子で入場してきた子どもたちでしたが、その表情はだんだん笑顔へと変わり、その瞬間を楽しんでいました。勝率約8割を誇る鬼北町のマツタウン。雨の中行われた試合でしたが、子どもたちの熱い声援が選手を後押しし、見事この日も愛媛FCが勝利を収めました。